

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電気回路 I 演習(再)						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修(組み込みシステムコース)/必修(電気エネルギーコース)/必修(情報システムコース)						
担当者	原谷 直実						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・キルヒホッフの法則とオームの法則を電流平衡式・電圧平衡式に正しく適用し、回路各部の電流・電圧を求めることができる。(A6,A7) ・重ねの理や回路方程式を用いて、多電源直流回路の解析ができる。(A7) ・等価電圧源や等価電流源を求めることができる。(A7) ・電源の供給電力と抵抗素子の消費電力、回路の消費電力を理解し、計算することができる。(A7) 						
日程と内容	<p>2014年04月08日(火) 5時限目 (16:40--18:10) ガイダンス</p> <p>第1回: 2014年04月15日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第2回: 2014年04月22日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第3回: 2014年04月29日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第4回: 2014年05月13日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第5回: 2014年05月20日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第6回: 2014年05月27日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第7回: 2014年06月03日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第8回: 2014年06月10日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第9回: 2014年06月17日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第2ピリオド試験、第3ピリオド試験</p> <p>第10回: 2014年06月24日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第2ピリオド試験、第3ピリオド試験</p> <p>第11回: 2014年07月01日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第2ピリオド試験、第3ピリオド試験</p> <p>第12回: 2014年07月08日(火) 5時限目 (16:40--18:10) 第2ピリオド試験、第3ピリオド試験</p> <p>第13回: 2014年08月28日(木) 第2ピリオド試験</p> <p>第14回: 2014年08月29日(金) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験</p> <p>第15回: 2014年09月01日(月) 第1ピリオド試験、第2ピリオド試験、第3ピリオド試験</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習			実技 部外評価 プレゼンテーション			
		100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	合格者は、授業到達目標を達成している。						
反省点	第12回までが当初予定の授業回数である。この間皆勤で、不合格になった学生は1名だけである。						
来年度の計画	1年次後期「電気回路 I 演習」不合格者再履修のための授業である。来年度も同様の措置が必要と思われる。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価7.9、合格率78%。繰り返し学習することで、合格できることは明白である。						
履修登録者数	21名	定期試験 受験者数	18名	合格者数	14名	合格率	78%